

ぎふの 埋蔵文化財

52

2008.7.1

岐阜県の埋蔵文化財
情報が満載



特集 有坂薬師堂遺跡

二〇〇八年度調査事業計画
のぞいてみよう！今年の遺跡
考古学教室⑬
「平安時代の飛驒の食器」
あゆみセンター年間行事計画ほか
センター掲示板
タイムスリップ探検隊参加募集ほか

有坂薬師堂遺跡(郡上市)



2008年度事業計画 のぞいてみよう! 今年の遺跡

1 荒尾南遺跡 (大垣市荒尾町・捨町)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



荒尾南遺跡 方形周溝墓群

平成19年度の発掘調査では、18年度に引き続き、弥生時代中期から古墳時代前期の土器、金属製品、木製品、石器など多数の遺物と、弥生時代中期の方形周溝墓41基、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居跡49軒、掘立柱建物跡4棟の他、大溝、水田跡等の遺構が見つかりました。今年度の発掘調査は約11,000㎡の範囲で行います。また、整理作業は、平成18年度から19年度の発掘調査で確認した遺跡北部および中部の遺構と遺物を中心に行います。この遺跡は弥生時代終わりに濃尾平野における一つの拠点となるような大集落を形成していたと考えられています。今年度の調査や整理作業によって、集落の具体的な様子がさらに分かっていくことを期待しています。

事業者:国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 事業名:東海環状(養老JCT~大垣西IC)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

2 岩田西遺跡・中屋敷遺跡 (岐阜市岩田西)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



岩田西遺跡 作業風景

岩田西遺跡は長良川の水流によってつくられた、自然堤防上及び後背湿地上に位置します。この遺跡では、平成2年度から7年度に岐阜市教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査において、須恵器・灰釉陶器・土師器や、中近世の陶磁器などが採集されています。また、中屋敷遺跡も、長良川の水流によってつくられた河岸段丘上に位置します。平成18年度に岐阜県教育委員会が実施した試掘確認調査において、古墳と推定される盛土や、中世の土師器皿を含む墳丘、土坑、溝などが見つかり、須恵器や土師器、そして中近世の陶磁器などが出土しました。今年度の発掘調査で、この地域の先人による生活の営みが、明らかになることが期待されます。

事業者:国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 事業名:156号岐阜東バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

3 広畑野口遺跡 (各務原市蘇原青雲町)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



広畑野口遺跡調査風景(H19)

広畑野口遺跡は、古代から近世にかけての長い時代にわたる複合遺跡で、遺跡内には8世紀後半創設と推定される野口廃寺が含まれます。昨年度の調査では7世紀後葉から8世紀にかけての掘立柱建物跡5棟、柱穴列跡1列、須恵器が多数出土した土坑群などを確認しました。掘立柱建物跡の柱穴はいずれも方形で、柱間は等間隔に確認できました。また、東西棟と南北棟は計画的に配置しており、建物の主軸となる方向は8世紀前半代の地方官衙に多い真北方位でした。文書行政を行う役人の必需品である円面硯等の遺物が多く出土したことから、掘立柱建物群は官衙に関連する遺構の可能性が高いといえます。今後、発掘調査・整理作業を進めていく中で、この建物群の様子が分かっていくのではないかと期待しています。

事業者:都市建設部岐阜土木事務所 事業名:公共緊急地方道路整備事業((都)岐阜鶴沼線)に伴う埋蔵文化財発掘調査

4 下切遺跡 (下呂市金山町中切)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



下切遺跡 作業風景

当遺跡位置し、跡の東側跡船橋跡。当遺跡会による認しめるため、掘立柱建物の可能性が高いと見られます。出土した遺物は、縄文土器2点・土師器4点・須恵器11点・灰釉陶山茶碗1点・青磁1点・古瀬戸又は大窯5点・近世陶器11点・近世の遺布状況かいます。平成20年度は、2,300㎡の発掘調査と一次整理作業を行う予定です。

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:41号下原改良に伴う埋蔵文化財発掘調査

5-1 三枝城跡 (高山市上切町)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



三枝城跡 作業風景

三枝城跡は、中部縦貫自動車道高山インターチェンジの北に隣接する山城跡です。平成18年度に実施した発掘調査では、掘切によって分けられた二つの曲輪や、その周辺に造られた土塁や横堀、帯曲輪の跡を確認しました。また、曲輪の隅には、攻撃用に準備されたと考えられる大人のこぶし大の川原石の集まりを発見しました。今年度の発掘調査は、平成18年度調査区の北西側に隣接する6,110㎡を行います。曲輪や曲輪間の通路、麓から主郭へ通じる道など、この山城の性格を特定できる遺構や、当時を物語る遺物の発見が期待されます。

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道及び高山国府BPに伴う埋蔵文化財発掘調査

5-2 ウバガ平遺跡・ウバガ平古墳群 (高山市上切町)

縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



ウバガ平2号古墳

ウバガ平遺跡は、中部縦貫自動車道の高山インターチェンジから700mほど北西に位置する遺跡です。平成13年度に1,500㎡、19年度に3,560㎡の発掘調査を実施しました。縄文時代から古墳時代にかけての集落跡を確認したほか、古墳時代後期の古墳4基を発見しました(ウバガ平古墳群)。出土遺物では、弥生時代中期の横羽状文甕が注目されます。それらの多くは住居跡から全体形が分かる状態でまとまって出土しており、飛騨地域の弥生時代を研究する上での貴重な手がかりになると考えています。

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道及び高山国府BPに伴う埋蔵文化財発掘調査

5-3 野内遺跡C地区 (高山市上切町)

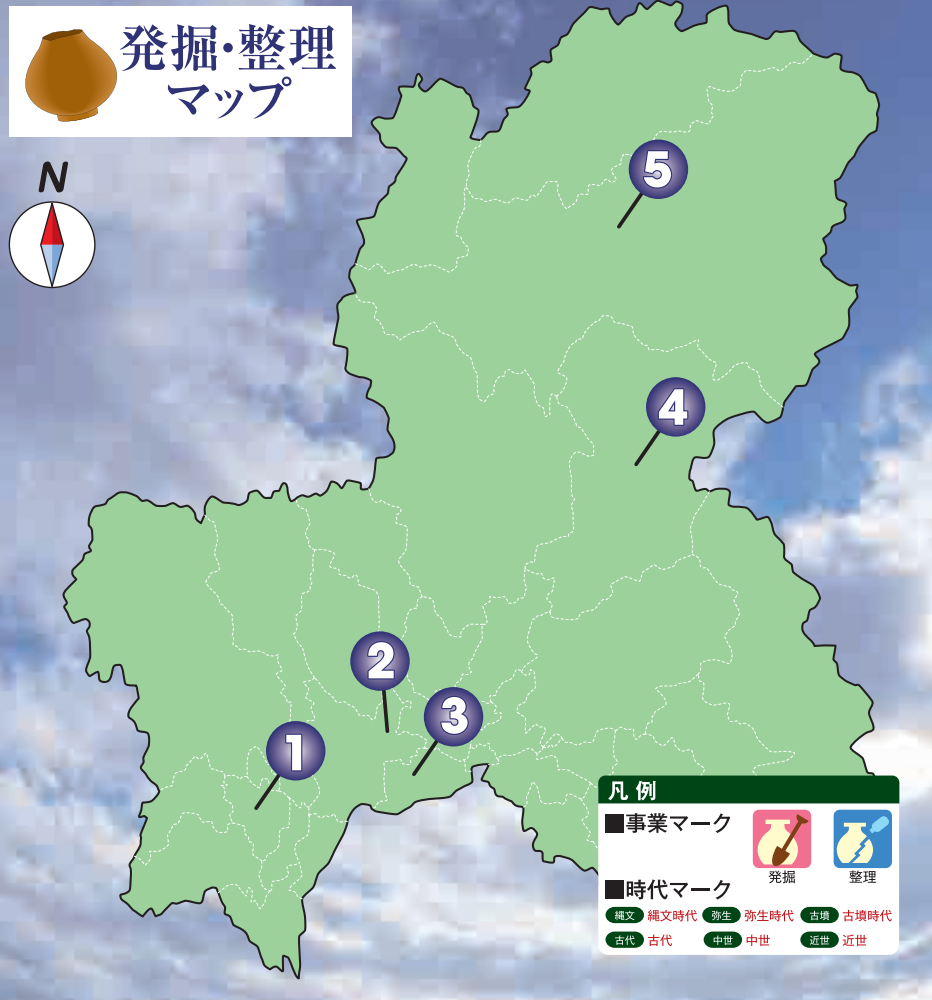
縄文 弥生 古墳
古代 中世 近世



ナスビ形鍬出土状況

野内遺跡は、中部縦貫自動車道高山インターチェンジの地点にあった大規模な遺跡です。立地と性格からAからDの4地区に区分されます。平成17年度から18年度にかけて調査を行ったC地区では、古墳時代の水田跡と竪穴住居跡、平安時代の水田跡と掘立柱建物跡などを確認しました。飛騨地方最多の木器が出土したことで特に注目されています。今年度も引き続き遺物整理作業を進めており、飛騨の木工技術を明らかにする具体的な手がかりを得られるものと期待しています。

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道及び高山国府BPに伴う埋蔵文化財発掘調査



日本の時代区分表

注)日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。また、縄文時代の始まりについては、他に約13,000年前など、いくつかの説があります。弥生時代の始まりについても、最近新しい説が発表されましたが、本表では、従来の説に従っています。

石棒類の多様な出土状況を検証! ～有坂薬師堂遺跡～

有坂薬師堂遺跡の概要

有坂薬師堂遺跡は、長良川の右岸に位置する河岸段丘上にあります。支流の竜牙谷川と合流するこの辺りは、舌状の扇状地が広がっています。

当遺跡では、約2ヶ月半の発掘調査により、縄文時代中期後半から晩期前半の遺構を発見しました。発見した遺構は、配石遺構(SI)10基・炉跡(SF)2基・柱穴跡(SP)18基・土器埋設遺構(SZ)4基・土坑(SK)179基・不明遺構(SX)1基です。また、縄文土器約5,000点、石器約1,100点が出土し、飛騨や信州の土器が在地化したものや、遠隔地からの搬入品と見られる石器などが確認できました。



国土地理院発行 1:25,000地形図「徳永」「郡上八幡」

祭祀・儀式的な意味を持つ石製品が多数出土

遺物包含層から、石棒2点と石刀1点が出土しました。石棒2点は、珪化木製のものと同様に濃飛流紋岩製の柱状節理面を持つものです。また、石刀は、柄頭に赤彩がわずかに残っており、縄文時代後期末から晩期前半のものと考えられます。これらの遺物は配石遺構周辺から出土しています。



石刀の実測図 4分の1



出土した主な石製品



石刀の出土状況(北西から撮影)

石棒類の多様な出土状況を確認

当遺跡では、祭祀・儀式的な意味を持つ遺物が、遺物包含層だけでなく、下の4つの遺構からも出土しました。資料を整理していく中で、これらの遺物の出土状況とよく似た事例が、飛騨や信州にも見られることが分かりました。



SZ4埋設土器から出土した石棒状自然石



SK21から出土した石棒や石皿



SK155から出土した石棒状自然石



SI4から出土した石棒状自然石

今から約2,500~4,000年前に、この遺跡が祭祀・儀式的な空間として利用されていたことが想像できます。石棒や石棒状の自然石が、いろいろな状態で出土したことが、他地域とのつながりを思わせる発見があったことは大きな成果です。



石棒の出土事例

当遺跡と
飛騨や信州の遺跡
を比べると

類似!!

※他遺跡の図は各報告書に一部加筆

有坂薬師堂遺跡 SZ4
中期後半以降(1/80)

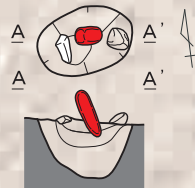


長野県下伊那郡にある瑠璃寺前遺跡では、竪穴住居に伴う埋蔵から出土しています。

瑠璃寺前遺跡 3号住居跡
後期(1/80)



有坂薬師堂遺跡 SK155
後晩期(1/80)

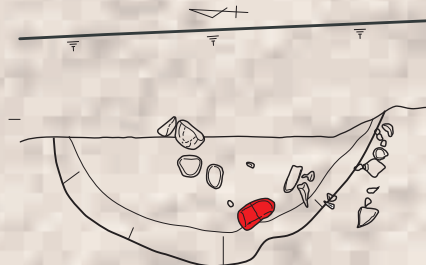


下呂市の湯屋遺跡でも、長細い川原石が立った状態で出土しています。

湯屋遺跡 立石2:SK47
中期後葉(1/80)

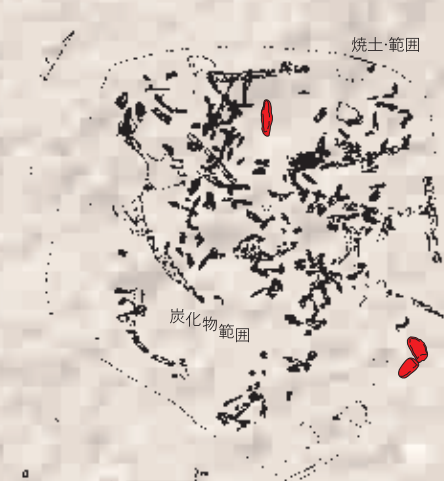


有坂薬師堂遺跡 SK21 後期前葉以降(1/80)



高山市の堂之上遺跡では、焼失住居から出土しています。

堂之上遺跡 22号住居跡 中期前葉(1/80)



有坂薬師堂遺跡 SI4 時期不明(1/40)



高山市の寺東遺跡でも、石が多く集まる遺構から、横に伏せた状態で出土しています。

寺東遺跡 第8号集石遺構 後晩期(1/40)

